

令和7年3月3日

保護者の皆様

令和6年度 知立小学校学校評価 ～アンケート結果・分析～ について

知立市立知立小学校長 伊 藤 雅 彦

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度も皆様にアンケートのご協力いただき、私たちの活動を振り返る機会とさせていただきました。そのアンケート結果がまとまり、分析を行いましたのでお伝えします。この結果をもとに、今後の知立小学校の教育活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

この学校評価の結果・分析は、アンケート回答の一部を分析したものです。お答えいただきました全アンケート質問の結果を、知立小学校ホームページのサイトにて掲載していますので、ぜひご覧ください。

調査目的：児童生徒がより良い教育活動等を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すための資料とする。

調査時期：令和6年12月～令和7年1月

調査方法：スマートフォンや学習用端末タブレットを活用したアンケート

活用方法：結果について分析し、今後の知立小学校の教育活動に生かす。

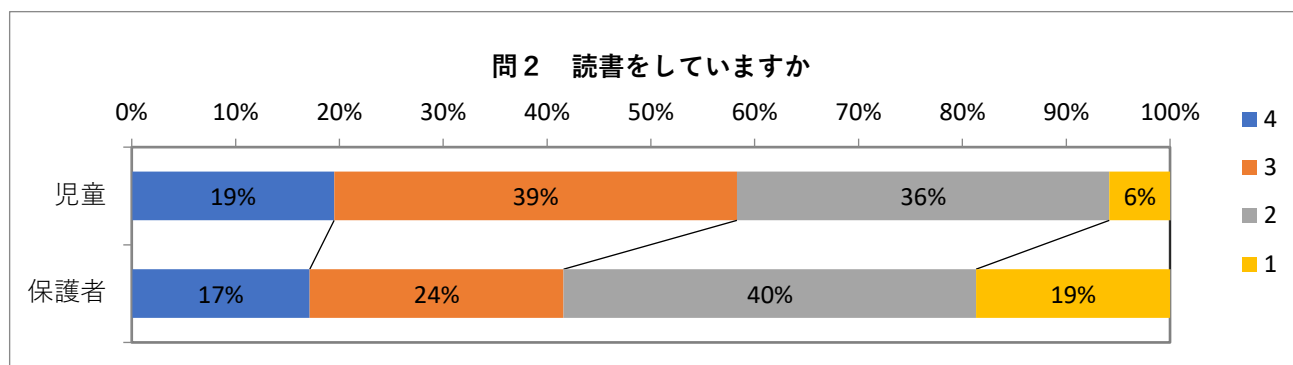
調査対象 回答数・回答率

児童(3～6年生) 91.7%(在籍数 563、有効回答数 516)

保護者(全員) 回答数 589 (無記名方式 児童数 23 家庭数 635)

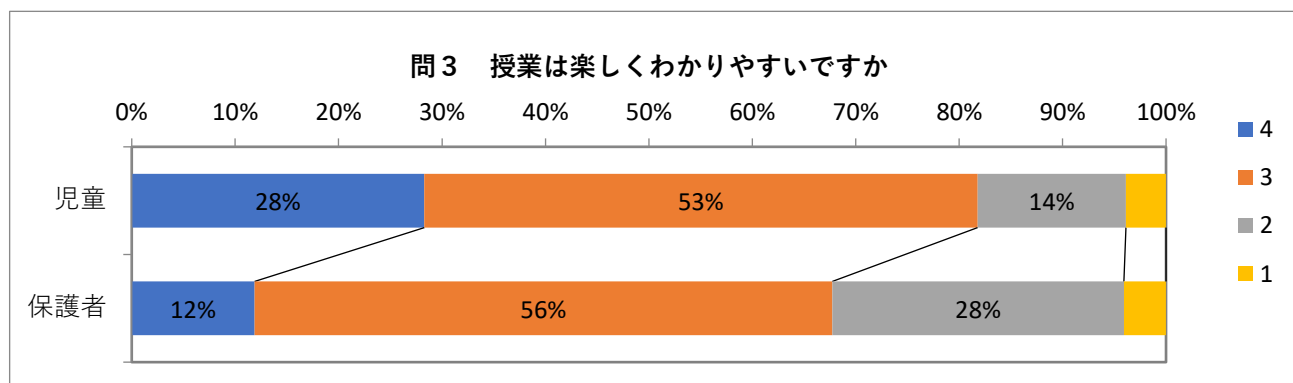
I 本校の教育目標 1 「進んで勉強する子」 について

回答 ■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



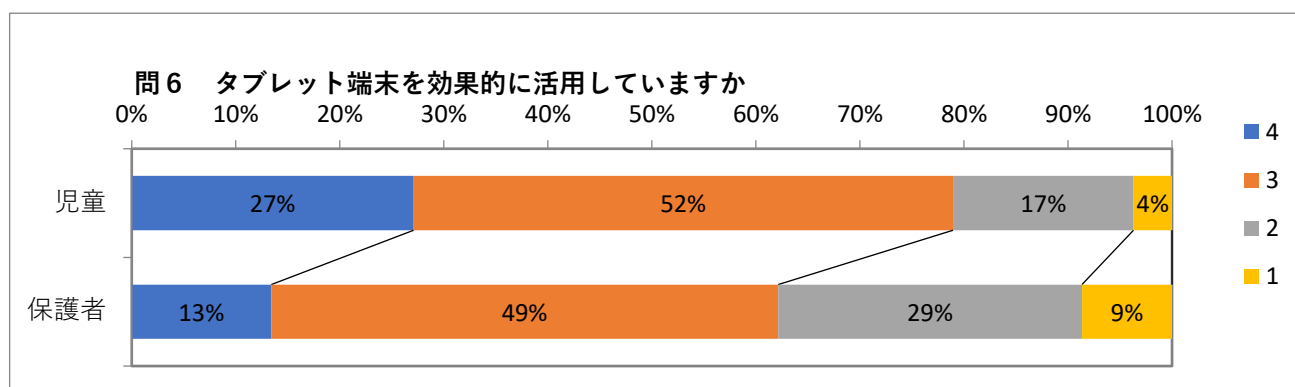
問2 「本をよく読みますか」について、児童（3～6年生 以下同じ）の58%が「読む」「とても読む」と肯定的に回答しています。昨年度は57%だったので、若干増えていますが、令和2年度67%、令和3年度64%、令和4年度59%で、ここ数年、減少傾向にあります。

読書に親しむ児童の割合が減少し、活字離れが進んでいることがうかがえます。読書をとおして語彙力や表現力、情景描写や登場人物の心情を読み取る力、創造力などさまざまな力を培うことができます。静かに本に向かう時間は落ち着いて学習に臨む姿勢づくりにも役立ちます。ご家庭で本にふれ合う機会をより多く設けていただければと思います。学校でも、朝の読書の時間をより大切にしていくとともに、低学年図書室を整備したり、児童が興味をもちやすい蔵書整備をしたりして努めてまいります。また、今年度より導入された知立市電子図書館も積極的に利用していけたらと考えます。紙の本とタブレット端末等 ICT 機器の両方のよいところを有効活用できる力を身に付けてほしいと願っています。



問3 「授業は楽しくわかりやすいか」について、児童の81%が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答しています。昨年度の結果は83%であり、若干減少しています。また、4%の児童（20人）が「全く分からない」「楽しくない」と答えています。（昨年度は2% 11人）

何をどのように学ばせるか、どのような力を身に付けさせたいか、明確な見通しをもってさらなる授業改善を図り、児童の学習に対するやる気を引き出す魅力的な授業、わかる・楽しい授業の構築を心掛けていきたいと思っています。

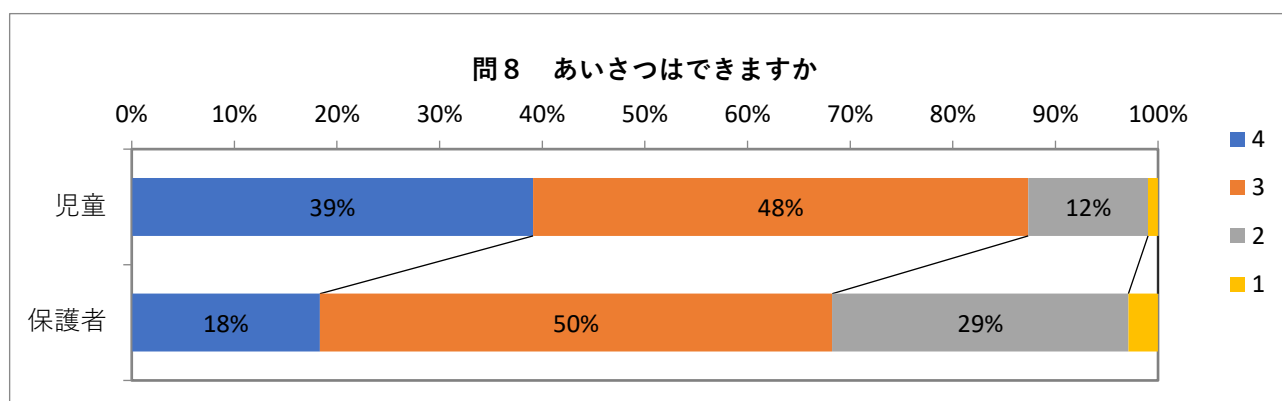


問6 「学習用タブレット端末を効果的に活用していますか」について、令和4年度は86%、令和5年度は80%、今年度は79%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答しています。

令和3年4月に全校児童にタブレット端末が貸与されて以来、本校では積極的に授業で活用しています。さらに、本校では、令和5・6年度知立市教育委員会より研究指定校委嘱を受け、研究テーマを「情報社会の中で自分らしさを発揮する子」とし、「体験」と「ICT」をバランスよく授業に取り入れること、ICTのよき使い手となると同時によき社会の担い手となることを目指す「デジタルシティズンシップ教育」に力を入れ、研究を進めてきました。今後も、子どもの学びを深める学習用タブレット端末を活用した授業の在り方について研究を重ねていきたいと考えます。

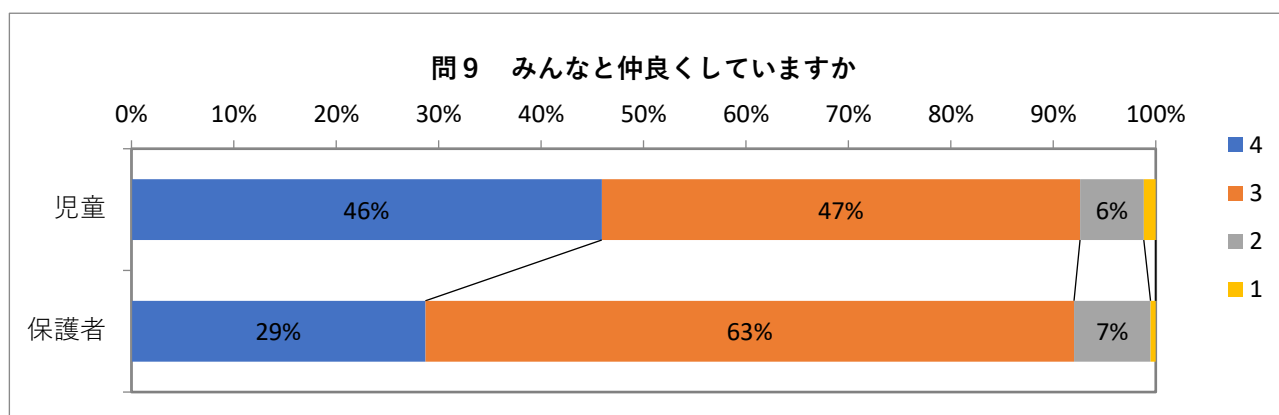
Ⅱ 本校の教育目標2 「思いやりのある子」 について

回答 ■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



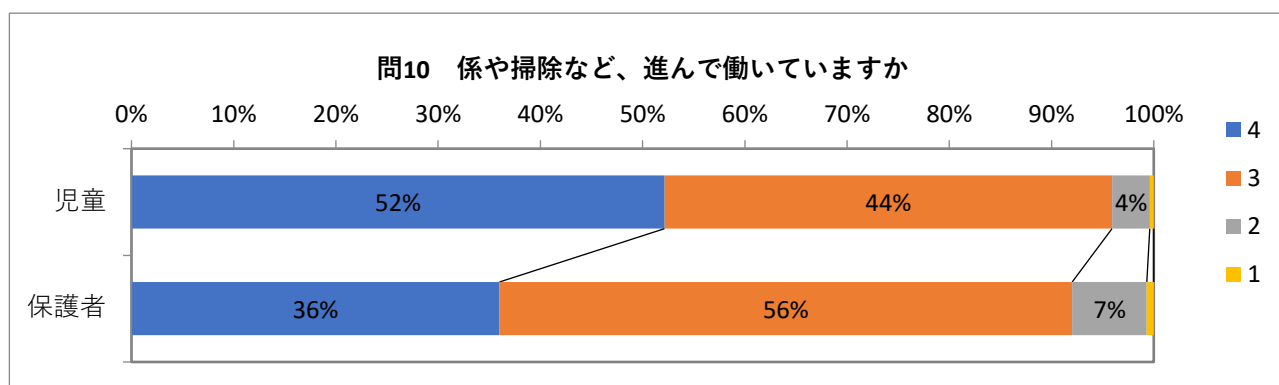
問8 「すすんであいさつをしていますか」について、児童の87%が「している」「とてもしている」と肯定的に回答していて、昨年度の89%より2ポイント減少しています。

本校では、「おあさご運動」(おはよう・ありがとう・さようなら・ごめんなさい)を、児童会が中心となり、長年、自主的に取り組んできました。人と人がつながるために、挨拶はとても大切なものです。全ての子が笑顔で挨拶ができるように、私たち教職員も率先垂範して挨拶を行っていききたいと思います。ご家庭でも子どもたちの挨拶を振り返る機会を設けていただければ幸いです。



問9 「だれとでも仲良くしていますか」という質問に、「している」「とてもしている」と肯定的に答えた児童の割合は、93%でした。(昨年度と同程度)

今後さらに「特別の教科 道徳」の時間を中心にして、思いやりの心や周りの人と助け合おうとする気持ちを、学校教育全体で育てていきたいと思えます。

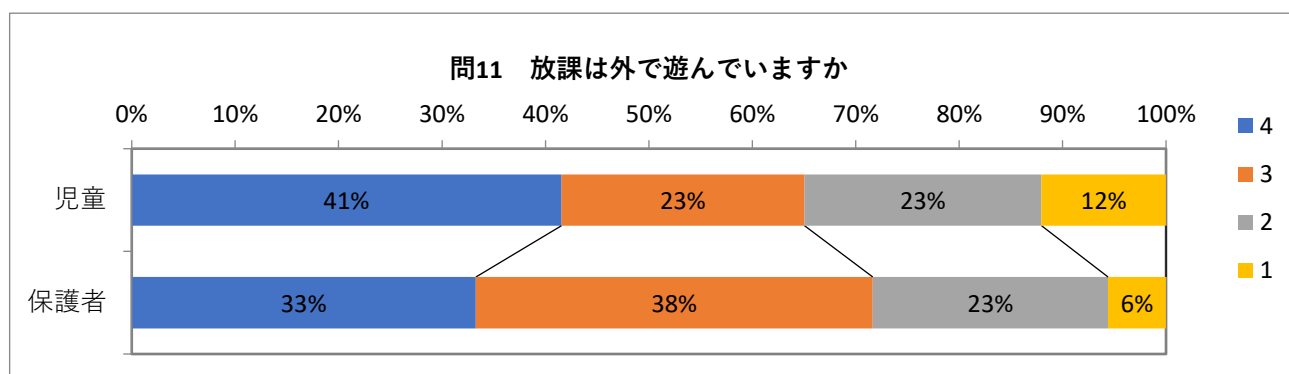


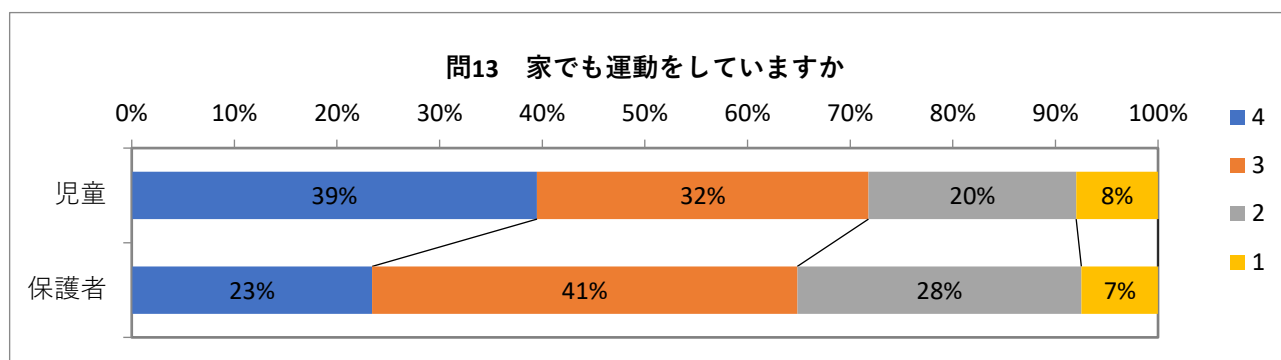
問10 「係や掃除など、進んで働いていますか」について、「している」「とてもしている」と肯定的に回答している児童の割合 96%でした。(昨年度と同程度)

知立小学校の児童は、本当によく掃除やお手伝いに取り組んでいます。人のために行動できる子は思いやりのある子です。また、身の回りの環境や人に配慮できることは自立した人格形成につながります。各ご家庭での児童へのかかわり・教育の賜だと思えます。

Ⅲ 本校の教育目標3 「力いっぱい運動する子」(体力づくり、外遊びの充実)について

回答 ■ 4 4 と思う ■ 3 やや 4 と思う ■ 2 あまり 4 と思わない ■ 1 4 と思わない





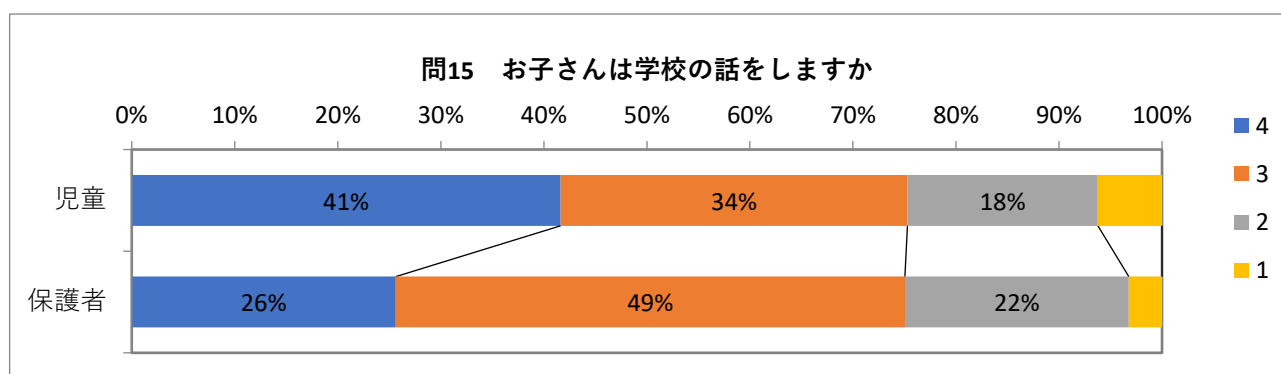
問 11 「放課には外で元気よく遊びますか」という質問に、「よく遊んでいる」「遊んでいる」と肯定的に答えた児童は64%でした。令和3年度63%、令和4年度68%、令和5年度65%となっており、コロナの影響のあった令和3年から、次の年に少し増加に転じたものの、ここ数年、減少傾向にあります。

問 13 「家でも外で遊んだり、運動をしたりしていますか」について、「している」「とてもしている」と肯定的に答えた児童は71%でした。昨年度も、同程度でした。

児童は、学校よりも家の方が、よく体を動かしていると感じているようです。コロナ禍を経験し、学校での体力づくり、放課での外遊びの役割がいっそう重要視されています。児童に身に付けさせたい「生きる力」とは、知・徳・体のバランスがとれた力といわれます。学校でも、外で体を動かしたり遊んだりする活動を重視し、今後も教育目標の1つの柱として、子どもたちの体力向上、生涯にわたって運動に親しむ下地を培っていきたいと考えます。

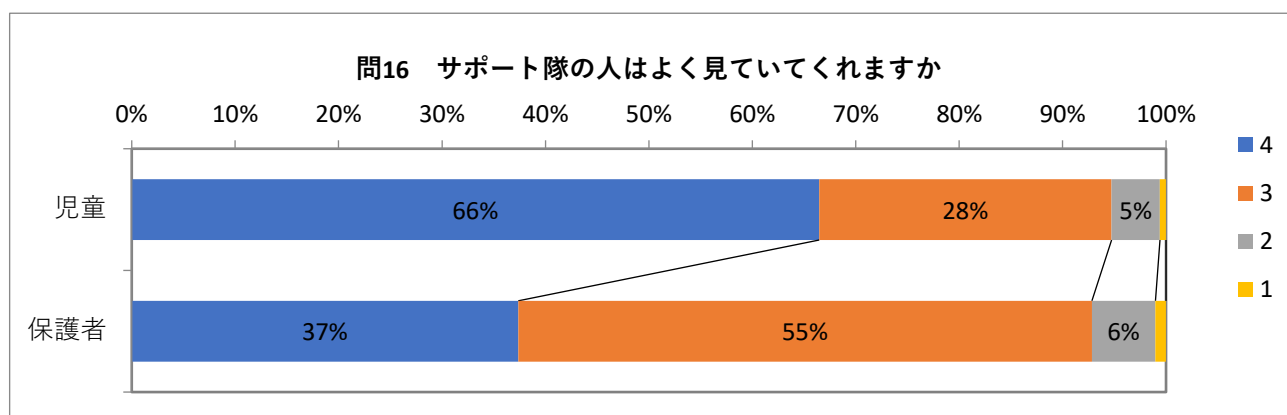
Ⅳ 家庭・地域との連携、安心・安全について

回答 ■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



問 15 「お家の人に学校であったことをよく話していますか」という質問に、「話している」「よく話している」と肯定的に答えた児童は75%、保護者は75%でした。昨年度は、児童84%、保護者81%であり、児童、保護者共に大きく減少しました。

ご家庭でお子様に学校のことをお尋ねいただけるとありがたいです。おうちの方がお子様のことに興味をもって聞いてくださるだけで、子どもたちは「認められている」と感じると思います。学校でのお子様の頑張りを認めてあげてください。また、学校で子どもたちが感じることは、楽しいことばかりではないかもしれません。そんな時に、おうちの方の前向きなお声かけが、子どもたちの支えになります。どうぞよろしくお願いいたします。



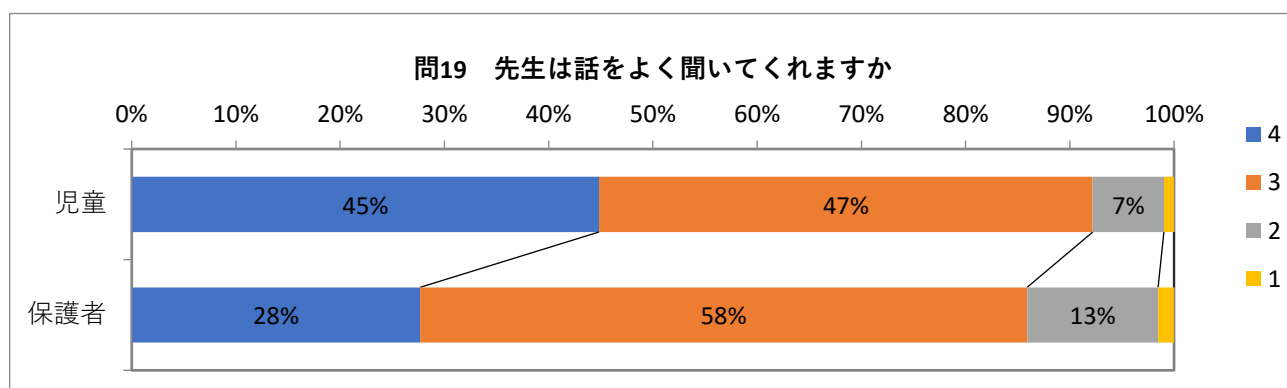
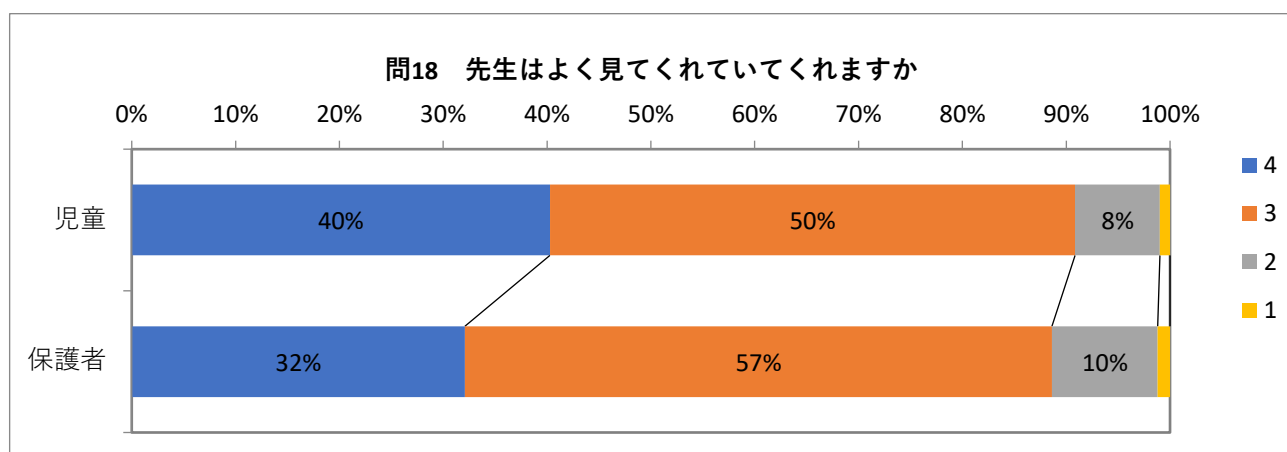
問 16 「知立小あんしんサポート隊の人は子どもたちをよく見てくれていますか」という質問に、「そう思う」「とてもそう思う」と肯定的に答えた児童は94%、保護者は92%でした。（昨年度は児童97%、保護者93%）

知立小学校では、学区の皆様のボランティアにより「知立小あんしんサポート隊」の活動が行われ、子どもたちの地域での安全を見守っていただいています。黄色いベスト（ジャンパー）が目印です。サポート隊の方の活動について、学校では「感謝の会」などで児童に知らせています。

発足から10年以上が過ぎた現在、「知立小あんしんサポート隊」については、保護者隊員の減少と地域隊員の高齢化が進んできました。新たにご参加いただける方の募集を随時行っています。ご協力をお願いいたします。

V その他について

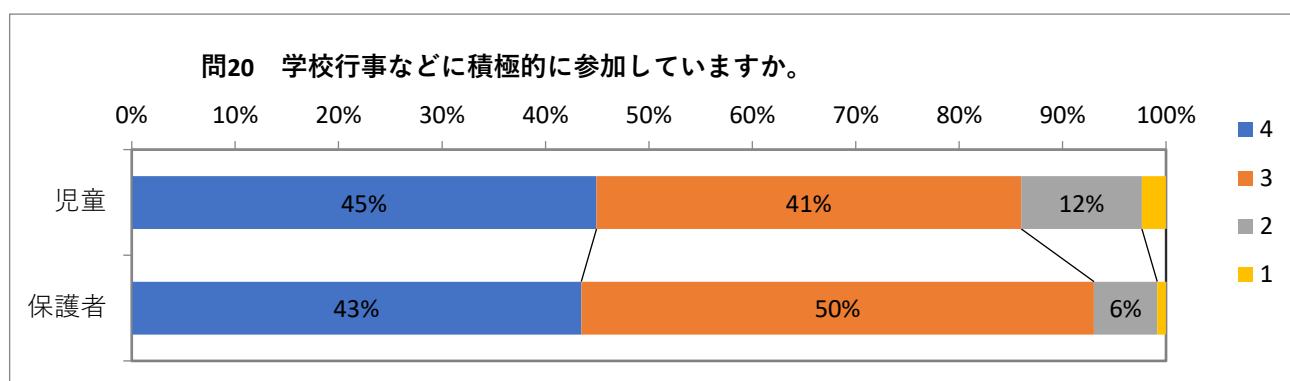
回答 ■ 4 そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



問 18 「学級担任はよく見ていてくれますか」という質問に、「そう思う」「とてもそう思う」と肯定的に答えた児童は 90%、保護者は 89%でした。（昨年度は、児童 95%、保護者 88%）昨年より児童は減り、保護者は増えました。

問 19 「先生は自分の話をよく聞いてくれますか」という質問に、「そう思う」「とてもそう思う」と肯定的に答えた児童は 92%、保護者は 86%でした。（昨年度は、児童が 95%、保護者が 84%）昨年より、児童は減り、保護者は増えました。

多くの児童や保護者に肯定的な回答をいただきました。が、「もっと見てほしい、聞いてほしい」と感じている子がいることも確かです。教員はこれまで以上に全体を見つつ、児童一人一人の様子を把握し対応するよう努めていきたいと思ひます。



問 20 「学校行事・学年行事等に積極的に参加しているか」について、「そう思う」「とてもそう思う」と回答した児童は 86%でした。（昨年度は 92%）昨年より減りました。

もちろん毎日の授業は大切です。しかし授業だけでなく、学校行事や学年行事等をとおして、友達とかかわり合い、同じ目標に向かって話し合い努力する場面で、児童は人として、教科書に書かれていない大切なことを学ぶことができます。行事の精選を検討していく必要はありますが、限られた時間の中でも、子どもたちが大きく成長する行事を大切にしていきたいと思ひます。

子どもはだれもがもっとできるようになりたい、もっと友達と仲良くなりたいと前向きに学校生活を送ろうと願っています。今回のアンケート結果を生かし、本校の学校教育活動を見直し、改善を図っていきたく思ひます。保護者の皆様方のさらなるご理解とご協力をよろしくお願いしします。